



小学生・中学生の皆さんへ

2020年[令和2年]

発行：荒川区  
発行部数：23,000部  
〒116-8501  
荒川区荒川2-2-3  
☎(3802)3111

# あらかわ区報 Jr

3.16  
No.131

ARAKAWA KUHO JUNIOR

ジュニア

あらかわ区報 Jr.は  
荒川区ホームページで  
ご覧になれます

<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/kusei/koho/koho/arakawakuhojr/index.html>



今回、汐入小学校6年生のジュニア記者たちが  
訪れたのは、あらかわりサイクルセンター。  
ここには荒川区内で回収したびん、缶、ペットボトル、  
食品用トレイなどの資源が集められています。  
回収した資源をどのように処理するのか、  
ジュニア記者が見学&体験してきたよ。

身近なことから  
始めよう!

## ごみを減らすには 「R」が大切!

あらかわ区  
荒川区  
リサイクルキャラクター  
りっくる



問い合わせ

清掃リサイクル推進課 内線449  
あらかわりサイクルセンター ☎(3805)9172

次は5月に発行する予定です

# 正しい手順でごみと資源を分別。 リサイクルして資源を再生!

家庭から出るごみには燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみがあります。また、その中には、正しく分別して出せば再利用できる資源が含まれていることがあります。家庭から出されるごみは、埋立処分場に運ばれ埋め立てられますが、このままではあと50年でいっぱいになり、使えなくなってしまいます。ごみを減らし、埋立処分場を長く使うためには、ごみと再利用できる資源を正しく分別することが大切です。ジュニア記者と一緒に、ごみの分別を覚えましょう!



清掃体験車「みえるん」へのごみの積み込みを体験。回収したごみを排出する様子は大迫力!

## 大切な3つの「R」! ごみを減らすキーワード「3R」って何?

ごみになるものを減らす「Reduce」、すぐに捨てず繰り返し使う「Reuse」、資源を再生して使う「Recycle」の最初の文字「R」を合わせて「3R」と言います。あらかわリサイクルセンターでは、運ばれてきた資源を砕いたり、潰したりして、別のリサイクル工場などに運びやすくする作業をしています。

## 資源の処理の流れを知ろう!

**びんの場合**  
中をすすいでびん専用のコンテナに出そう!  
井上陽奈さん

リターナブルびんとカレットびんに分けられます。リターナブルびんは牛乳びんやビールびんなど、洗って繰り返し使うことができるびんです。カレットびんは緑、茶、白、その他の4色に分け、砕いてからリサイクルします。緑、茶、白はまた同じ色のびんに生まれ変わり、その他の色のびんは舗装道路やタイルなどに使用されます。

**正しい出し方**  
飲み残しや使い残しがない確認して、すすいでから分別しましょう。回収できるびんは、飲食用だけです。薬品などのびんは燃やさないごみとして出しましょう。

リターナブルびんとカレットびんは、作業員の方が一つずつ手作業で分別します。リサイクルするためには色ごとに分けることがとても大切です

**缶の場合**  
缶専用のコンテナに出してね!  
関口颯太くん

回収した缶は、機械を使ってスチール缶とアルミ缶に自動分別します。ベルトコンベアに磁石が付いているので、鉄でできたスチール缶だけが磁石に引き寄せられていく仕組みです。分別した後は、次の工場へ運びやすいように機械で潰して圧縮します。ジュニア記者たちは、その様子をガラス越しに見学しました。

**正しい出し方**  
缶のキャップやタブは一緒にリサイクルできます。タブは無理に外さず中身を空にして軽くすぎ、決められた場所に出しましょう。

缶を潰して圧縮したものを「ペール」と言います。200mlのスチール缶が約400本分入った重さ約15kgのペールを発見! 一人で持ち上げられるかな?

**ペットボトルの場合**  
潰してから出してOK!  
本間登大くん

ペットボトル以外の混入物を手作業で取り除いてから、機械で圧縮します。ペットボトルとしてリサイクルするだけでなく、衣類やいろいろなプラスチック製品、工場でする補助燃料などに生まれ変わることができる資源です。

**正しい出し方**  
ペットボトルを出さず前にラベルとキャップを外し、中を軽くすすぎます。外したラベルとキャップは燃やすごみで出しましょう。

約800本の500mlペットボトルが圧縮されたペールは、重さ約20kg! 見た目は軽そうだけど、二人でも持ち上げるのは大変!

**古紙の場合**  
紙袋に入れてOK!  
飯塚葵さん

一度役目を終えた新聞、雑誌、牛乳パック、段ボールなどの資源を「古紙」と言います。生まれ変わる紙によって使われる古紙の種類が変わるので、きちんとした分別が必要です。今回は、古紙の中でも「雑がみ」と呼ばれる紙の分別方法を教えてもらいました。リサイクルできる紙は身近にたくさんあるので、お家の人と分別してみてくださいね!

**雑がみ分別クイズに挑戦!**  
雑がみはどれかな?  
どれだろう?  
正解はこちら!  
正解は紙袋だけでした! 紙袋の手さげ部分がビニール製のは外して出しましょう。また、食べ物の汚れが付いているもの、たばこなどの強い臭いが付いているもの、加工された紙などはリサイクルできないので、雑がみではなく燃やすごみとして出しましょう

**考え中**  
「紙袋、紙コップ、紙皿、ドーナツのテイクアウト用の箱、たばこの箱のうち、雑がみとして出されるものはどれでしょうか?」その理由も一緒に考えます

**紙でできているものは全部雑がみのかな? 「加工したツルツルの紙も再利用できる?」と、実際に手で触れながら答えを考え中**  
手さげの部分は燃やすごみです

**リサイクルされた製品はこちら!**  
資源として回収された雑がみは製紙場で紙の原料となり、コピー用紙、ノート、トイレットペーパーなどにリサイクルされます。資源回収日には自宅にある紙袋に入れるか、ひもで十字に縛って出しましょう。個人情報がある郵便物などは、細かく切って燃やすごみで出しましょう。

**ごみを減らすための荒川区の取り組み**

**ごみを減らしましょう**  
●食べずに捨てられてしまう食品(食品ロス)を減らすために、食品ロス削減事業「荒川もったい」を実践しています。

**リサイクルを進めましょう**  
●あらかわリサイクルセンターで区内から集めた資源を中間処理しています。  
●不燃ごみや粗大ごみに含まれる金属などの資源化を進めます。

**ごみ出ルールを守りましょう**  
●ごみ出ルールのPR活動を行っています。  
●災害時の「がれき」などの処理についての計画を作っています。

**ごみやリサイクルについて学びましょう**  
●あらかわリサイクルセンターでは、ごみやリサイクルについて楽しく学べる工夫をしています。

あらかわリサイクルセンターご案内  
〒116-0003  
荒川区南千住  
3-28-69  
【問合せ】  
☎(3805)9172

清掃リサイクル啓発冊子  
「はじめよう! わたしたちにもできること」

QRコード

Topics

“社会を明るくする運動”  
作文コンテスト、  
三瑞小・小泉明日香さんが  
優秀賞を受賞

1月7日、第69回“社会を明るくする運動”作文コンテストの表彰式が行われ、第三瑞光小学校6年の小泉明日香さんが優秀賞である東京保護観察所長賞を受賞し、西川区長に報告しました。この賞は、日常の家庭生活、学校生活の中で体験したことを基に、犯罪・非行のない地域づくりや犯罪・非行をした人の立ち直りについて考えたことや感じたことなどを題材にしたもので、東京都の小学校163校から4,988作品の応募があり、その中で優秀賞は7作品が選ばれました。



▲西川区長に優秀賞受賞の報告をする小泉さん

ゆいの森あらかわが来館者  
200万人を達成しました

1月15日、ゆいの森あらかわの来館者が、開館から950日で200万人を達成しました。

当日は記念セレモニーが開催され、来館200万人目にあたるご家族には、西川区長から認定書が手渡されました。続いて、観覧していた子どもたちがプレジデントを務め、記念品と花束を贈呈しました。また、来館者達成記念にくす玉割りも行われ、華やかなセレモニーとなりました。



▲来館者200万人達成記念のくす玉割り



▲西川区長と一緒に記念撮影

令和元年度

あらかわお弁当レシピコンテスト

受賞作品発表!

今年も素敵でおいしそうなお弁当がたくさん選ばれました。小・中学生の部で選ばれた各賞のお弁当を紹介します!

荒川区長賞

小学校1~3年生の部

「グルメほっかいどうべんとう」



都筑 菜奈さん  
ひぐらし小学校・2年生

夏の家族旅行で食べたおいしいものを、もう一度食べたくて作りました

小学校4~6年生の部

「夏にばっちり夏野菜弁当」



福地 美里さん  
赤土小学校・4年生

夏の野菜を多く入れた、野菜がメインのお弁当を作りました

中学生の部

「夏野菜色どり弁当」



福田 なつさん  
尾久八幡中学校・2年生

母手作りのお弁当を自分で作ると料理の大変さが分かり、母のすごさを感じました

女子栄養大学学長賞

小学生の部

「天までとどけ! おじいちゃんありがとう弁当」



山口 柚菜さん  
汐入東小学校・6年生

優しくしてくれたおじいちゃんに食べてほしいお弁当を作りました

中学生の部

「元気たっぷり! 夏野菜弁当」



福田 柑子葉さん  
諏訪台中学校・2年生

忙しい母と一緒に食べられる夏らしい彩りのあるお弁当を作りました

あらかわ 今昔ものがたり 日 [ばしょうくんと旅する奥の細道]

【問合せ】荒川ふるさと文化館 ☎(3807)9234



ゴールは、奥の細道むすびの地・大垣

ばしょうくんの旅は、いよいよ最終回だよ。弟子の路通さんのお迎え 8月中頃、歌人の西行さんが和歌を詠んだ敦賀(福井県敦賀市)、種々の浜(今の色ヶ浜)を訪ね、大先輩をしのんで俳句を詠んだ。美しい浜辺の思い出は、作品や句碑となって今でも敦賀に伝わっているんだよ。

ここでお友達の等裁さんとはお別れだけど、弟子の路通さんのお迎えに来てくれた。ゴールの美濃国(岐阜県)の大垣まで一人旅を覚悟していたから、とても心強かったんじゃないかな。

謎のルートを探る 芭蕉さんが大垣まで、どこを歩いたのか正確にはわかっていない。曾良さんが体調を崩して山中温泉(石川県)で別れたよね。それからの芭蕉さんの足跡はあまり残されていないんだ。先に行った曾良さんの日記から、芭蕉さんのルートを推測することができるんだよ。



芭蕉さんが船に乗った川湊

どうも、芭蕉さんは、越前国(福井県)とおうみのくに(滋賀県)・美濃国(岐阜県)を結ぶ北国街道を通過して

行ったと考えられているんだ。

むすびの地・大垣へ 8月21日、芭蕉さんは馬の背に揺られて奥の細道の旅のゴール、大垣に入った。大垣は何度も訪れた場所、お友達も多かったから、たくさん出迎えに来てくれた。なんと病気が良くなった曾良さんも駆けつけた。長旅で命を落とすかもしれないと覚悟していたから、弟子やお友達との再会は生き返った人に会えたように嬉しかったんだって。赤坂宿の明星輪寺をお参りし、大の仲良し木因さんや家老の戸田如水さんのお家に招かれたり、句会を開いたりして約2週間を過ごしたんだ。

永遠の旅人・芭蕉さん 千住を旅立ったのが、春の3月27日。大垣にたどり着いたのは、8月(旧暦)の末の秋だった。5か月の旅を終えたばかりの芭蕉さんは、旅の疲れも癒えないうちに、伊勢神宮(三重県)にお参りしたいと、大垣から船に乗り、また旅に出たんだ。

蛤のふたみにわかれ行秋ぞ 芭蕉 奥の細道はここでおしまいだけど、芭蕉さんは最期まで旅を続けた。旅を愛し旅に生きる永遠の旅人だったんだね。